

平成 22 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長CEO 工 藤 英 人
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長兼総合企画室長兼財務経理部長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

平成23年3月期第2四半期業績と前年同四半期業績との 差異に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の業績が、前期の平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期業績と前年同四半期業績との差異

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 22 年 3 月期第 2 四 半期連結会計期間 (A)	1,708	1,678	△79	50	38	1 円 14 銭
平成 23 年 3 月期第 2 四 半期連結会計期間 (B)	1,446	1,394	△446	△352	△241	△4 円 15 銭
増減額 (B－A)	△261	△284	△366	△402	△280	△5 円 29 銭
増減率 (%)	△15.3	△16.9	－	－	－	－

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)は、世界各国の景気刺激策やアジア新興国の活発な景気に支えられ持ち直しているといった見解があったものの、急激な円高の進行や継続的なデフレ状態が続いており、依然として完全失業率が 5 % という高水準で推移しているなど景気への先行き不透明感が高まっております。株式市場におきましては、円高による企業収益への影響懸念などにより低迷が続き、政府による円売り介入が実施され反発の動きをみせたものの、平成 22 年 9 月末の日経平均株価取引は 9,369 円 35 銭で終了いたしました。

このような株式市場の影響を受け、当社の主要な連結子会社である黒川木徳証券(株)の当第 2 四半期連結累計期間の受入手数料も 1,196 百万円(前年同四半期比 17.7%減)、トレーディング損益 81 百万円(前年同四半期比 59.4%減)、営業損失 388 百万円、経常損失 374 百万円、四半期純損失 417 百万円となりました。

この結果、営業収益は 1,446 百万円(前年同四半期比 15.3%減)、経常損失 352 百万円(前年同四半期は経常利益 50 百万円)、今期より適用された会計基準である「資産除去債務」により賃借不動産の原状回復見積り額の過年度分 31 百万円等の特別損失計上により、当四半期純損失は 241 百万円(前年同四半期は四半期純利益 38 百万円)と大幅な減益となりました。

以 上